



“天高く馬肥ゆる秋“ということわざがある。秋はしのぎ易く食欲もでてくると、のんびりとした風景をイメージすることわざのようですが、実はこのことわざは、秋になる前の夏に草をたくさん食べて体力をつけた北方の馬たちが要塞に攻め込んでくるぞという、警告のことを意味しているようです。慈愛会も今までの知識や体制、考え方を夏までに蓄えて、今年度後半を攻めていかなければなりません。健全経営では警告ですが、来年度の診療報酬改定の前に、経営を回復することです。看護部としましては、看護配置基準を満たしながら、病床稼働率を良くする事です。入院患者を絶対に断らないこと。緊急入院患者を入れられる体制でいることです。基準に合った看護配置数を大幅に上回ると人件費率が上がります。多忙を理由に看護師数を増やすことが出来ない仕組みが診療報酬です。

しかし、看護の質は求められますので、本当に油断ができないしんどい医療界だと思います。さて、慈愛会の看護部は、自己のキャリア開発をしながら成長し、組織に貢献していただいているところです。分院から、訪問看護ステーションと本院に数名の看護師さんが配置がえや応援体制をとっていただき、組織の機能を拡大することができております。また、9月後半は、徳之島病院に谷山病院から応援体制、11月は奄美病院からも徳之島病院に派遣していただくことになりました。

このように、慈愛会のグループは互いに弱くなっているところを補完しあえることが強みです。看護職の最後の達人は、院内外いづれの場所でも対応できる看護職です。現在の勤務地を離れ、別の場所で勤務することは、ストレスではありますが、全ての体験が自己の成長に繋がります。組織のために、自分のために頑張ってください看護師さんに心から感謝致します。

慈愛会フィロソフィについて；慈愛会創設80周年にちなみ、理事長が慈愛会にフィロソフィがあるのかと検討会を発足させ、プロジェクトチームが学習会を重ねてきました。80年の間そこで働いてきた職員や今現在働いている職員は、明らかに慈愛の精神で脈々と働いている。そのことは、今回学習会であみ出した『慈愛会フィロソフィ』が無意識に存在していたからのだと思いました。すべての慈愛会の職員は、患者さんの立場に立って、人を救いたいという『核』をもって働いております。私も直接的には患者さんに関わりませんが、慈愛会の一員として、患者さんの立場となって働き甲斐のある看護師さんが多く、永く働ける環境の提供に寄与していきたいと思っております。 統括看護部長:中重敬子

平成27年度 新任看護師長研修実施

7月31日(金)に実施 今年度師長に昇任した6名(分院3名・谷山3名)の受講でした。副師長時代には見えなかったこと、意識していなかったことを感じながら、責任の重さだけは自覚しているこの時期に、6名が同じ思いしていることが分かり、ぶつかっている壁を吐き出しました。久徳看護部長から「看護が楽しくなる部署に変化させる看護師長になろう」というテーマで講義していただきました。特に病棟ラウンドのコツはとても参考になり、今後活かせる内容でした。中重統括看護部長からは、目標管理のあり方を教えていただき、チャレンジプラン・育成面接・コーチングを具体的に学びました。「めげない!ぶれない!絶やさない!フットワーク!」目指せ!日本一の看護師長!



平成27年度 副看護師長研修実施

8月22日(土)に実施 慈愛会の副看護師長が一同に会した研修は2年ぶり!今回は35名(本院5名・分院11名・谷山11名・奄美5名・徳之島3名)の受講でした。役割を果たそうと頑張っているながらも、壁にぶつかったり、悩んだりしている副看護師長、子育てしながらも夜勤もして管理にも頑張る副看護師長など様々な思いを抱き研修を受けていらっしゃいました。そんな副看護師長さんを“おもてなし”しようとアイスブレイキングで一工夫。おみくじ付き折り紙を皆様にプレゼント!緊張されていた表情が一気に明るくなり、本来の笑顔の素敵な副看護師長になりました。研修も2年前とは違い、役割を果たそうとする意識がとても高く、前向きな意見が多く、頼りがいのある副看護師長に成長していると感じました。



平成27年度 副看護部長研修実施

9月12日(土)に実施 今回の研修では8名の副看護部長(本院2名・分院2名・谷山2名・奄美2名)と看護学校主任1名の受講でした。受講者が副看護部長職ともなると、研修の目標も「より学び、より実践に繋がること、何か成果をだすこと」と高く設定しました。

もちろん主催者も研修を成功させるためにホスピタリティ精神で企画を準備。ハロウィンのポップアップカードに手作り折り紙、相田みつおの言葉を添えたものをプレゼント。ウェルカムの気持ちが受講者にも伝わりました!

研修では、「もしも高校野球の女子マネージャーがドラッカーのマネジメントを呼んだら」とドラッカーの「マネジメント」エッセンシャル版を読んで意見交換をしました。「真摯さなくして組織なし」「組織の定義付け」「強みを活かす」など勉強になりました。

中途採用者の支援体制は今後定期的に集まり、成果を出していくそうです。楽しみにしています。



分院・谷山病院へ 台北看護協会 来院

9月8日(火)~9日(水)に台北の看護協会より40名の看護師さんが分院、谷山病院へ見学にいらっしゃいました。

初日は歓迎の気持ちでお迎えし、分院の院長、副院長、事務長よりお話がありました。

その後、分院の西村教育担当師長より「日本看護体制について」の説明、浜辺副師長より「地域包括ケアシステムについて」の説明がありました。台北看護協会の皆様は、大きくうなづいたり、時に声を上げながら反応され、日本の看護に興味を持っていらっしゃいました。

院内見学でも多くのことに興味を示され、たくさんの質問をされていらっしゃいました。

2日目は、台北看護協会の皆様より感謝の気持ちが伝えられました。台北看護協会の方々からは明るく気さくな方々で、たくさんの元気をいただきました。これからも看護を通じ、国を超えて、関わることができると良いですね。



徳之島病院 インターンシップ

皆さんこんにちは南国徳之島も朝夕涼しくなり、秋めいてきましたが鹿児島の方はいかがでしょうか?

さてさて今年も鹿児島中央看護専門学校(2年生)4名が徳之島病院のインターンシップに参加して下さいました。開催期間は7月28日(火)から7月30日(木)の2泊3日でした。船に揺られること15時間の長旅だったことでしょう。<初めての体験 in 徳之島>

大きな荷物を抱え徳之島に到着!初日は徳之島保健所にて離島医療の現状と地域との関わりについて学習。徳之島を通じて離島精神科医療の役割を少しでも学ぶ事が出来たのではないかと思います。

2日目は病棟内研修と訪問看護研修を2班に分かれて行いました。生き生きと輝いている学生さん達に職員も若いエネルギーを頂き、楽しい時間を過ごすことが出来ました。職員一同感謝です。将来一緒にお仕事が出来ればと願っています。

さらにその夜は理事長・院長を囲み喜念浜でのバーベキュー・・・徳之島産の豚肉に牛肉の食べ放題!満天の星空を見上げながら将来を語り合いました。

尚今回は琉球リハの実習生と指導教官、さらに福岡医専の実習生、今村調理師専門学校の実習生なども加わり一段と盛り上がりました。今から来年のインターンシップも楽しみにしています。

